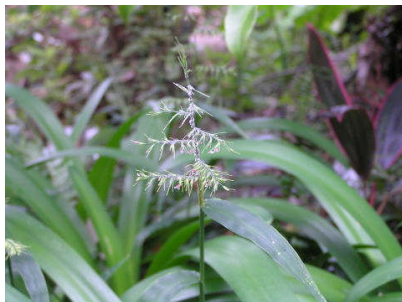




<http://had0.big.ous.ac.jp/plantsdic/angiospermae/monocotyledoneae/gramineae/kochijimizasa/kochidimizasa.htm>(上下2枚)

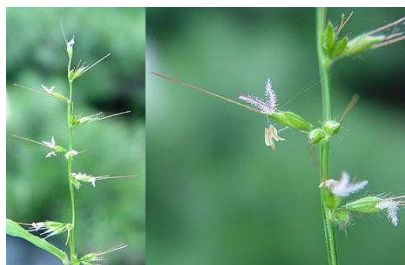


花序の枝の長いものはエダウチチヂミザサ。

区別のポイント

葉は波打ち、縮んでいるように見える。直立する中軸に小穂が密集する。花序を触るとベタベタと粘る。

花序の中軸に毛があるものはチヂミザサ、ないものはコチヂミザサ。



形態 一年生草本。高さ 10 ～ 45 cm。

分布 日本全土

名前の由来 縮笹で、笹を思わせる葉形と、葉縁の波形による。

葉 (チヂミザサ)

〈全体〉広披針形で尖り、長さ 3 ～ 7 cm、幅 1 ～ 1.5 cm。

〈縁〉波打つ。

備考 いわゆるひつつきムシなので、ベタベタを嫌うのかもしれない。

出典 4, ※